

様式第6号（第5条関係）

政 務 活 動 費 実 績 報 告 書

令和7年12月4日

久慈市議会議員 濱欠 明宏 様

会 派 名 くじ未来会議

代表者名 岩城 凌

政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり報告します。

|       |                                           |                                |                                |                              |                                   |
|-------|-------------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|
| 使 途   | <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 | <input type="checkbox"/> 研修費   | <input type="checkbox"/> 広報費   | <input type="checkbox"/> 広聴費 | <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 |
|       | <input type="checkbox"/> 会議費              | <input type="checkbox"/> 資料作成費 | <input type="checkbox"/> 資料購入費 | <input type="checkbox"/> 人件費 | <input type="checkbox"/> 事務所費     |
| 実施期間  | 令和7年7月16日（水）から7月18日（金）まで                  |                                |                                |                              |                                   |
| 実施場所  | 山形県長井市、米沢市                                |                                |                                |                              |                                   |
| 参加者名  | 岩城凌、下川原光昭、小林光彦、山内七恵、八重櫻友夫                 |                                |                                |                              |                                   |
| 実 績 額 | 247,720 円                                 |                                |                                |                              |                                   |
| 内 容   | 別紙報告書のとおり                                 |                                |                                |                              |                                   |

# くじ未来会議 行政視察報告書

## 目 次

|     |                      |   |
|-----|----------------------|---|
| 1   | 所管事務調査テーマ            |   |
| (1) | 調査テーマ                | 1 |
| (2) | 現状・課題                | 1 |
| 2   | 視察先及び視察結果について        |   |
| (1) | 視察先の選定               | 2 |
| (2) | 視察期間                 | 2 |
| (3) | 視察先の取組状況①「スマートシティ長井」 | 3 |
| (4) | 視察先の取組状況②「米沢ブランド戦略」  | 5 |
| (5) | 実地視察                 | 6 |
| 3   | 久慈市として今後取り組んでいくべきこと  | 8 |

# 1 視察テーマ（現状・課題）

---

## （１）調査テーマ

- ①スマートシティ長井（山形県長井市）
- ②米沢ブランド戦略（山形県米沢市）

## （２）現状・課題

久慈市では、人口減少や少子高齢化の進行、産業構造の変化、地域の担い手不足といった複合的な課題が顕在化しており、地域社会の持続可能性が大きく問われている。これらの課題に正面から向き合い、将来にわたって活力あるまちを維持していくためにも、従来の施策にとどまらず、地域の価値を見直し、再定義したうえで、それを内外に発信していく新たな視点が必要となる。

また、限られた財源や人材の中で、より効果的かつ持続可能なまちづくりを実現するためには、行政サービス、生活基盤といったあらゆる分野において、デジタル技術を積極的に活用しながら、住民とともに課題解決に取り組む共創の視点を持つことが求められており、行政が主導するだけでなく、市民、事業者、関係団体などが深く連携し、地域全体で目指すべき将来像を共有しながら取り組む必要があると考える。

地域資源を最大限に活かし、市民一人ひとりが地域に誇りを持ち、安心して暮らし続けられるまちを目指すため、先進自治体を視察し、制度設計の背景や体制構築の過程、住民や民間との連携の手法などについて具体的に学び、今後の政策展開の参考とするもの。

## 2 視察先及び視察結果について

### (1) 視察先の選定

本視察では、人口減少や地域経済の縮小といった共通課題に対し、先進的な取組を行う自治体の事例から具体的な知見を得ることを目的とし選定を行った。

長井市では、デジタル技術を活用して地域の利便性と持続可能性を高め、住民が安心して暮らし続けられる「スマートシティ長井」に取り組んでおり、行政運営の効率化と市民生活の利便性向上を目指すうえで参考となる事例である。

米沢市では、「米沢ブランド戦略」のもと、地域資源の高付加価値化や観光振興、関係人口の拡大に官民連携で取り組んでおり、道の駅などの拠点施設の視察も通じて、地域の活性化やシビックプライドの醸成に資する実践的な知見を得ることを目的としている。

### (2) 視察期間・日程

令和7年7月16日(水)から7月18日(金)にかけて



| 視察先   | テーマ概要          |
|-------|----------------|
| 長井市役所 | スマートシティ長井の取組   |
| 米沢市役所 | 米沢ブランド戦略の取組    |
| 東光の酒蔵 | 歴史的建造物の活用・発信   |
| 米織会館  | 伝統工芸ブランディングの取組 |
| 上杉神社  | 歴史文化とまちづくりの融合  |
| 道の駅米沢 | 観光魅力発信の展開      |

### (3) 視察先の取組状況①

#### 山形県長井市

□視察日 : 令和7年7月16日(水)

□視察事項: スマートシティ長井の取組

□概要

＜これまでの経過＞

- ・長井市では人口減少や少子高齢化への対応として、国のSociety5.0を見据えた地方創生戦略を推進し、2021年に「スマートシティ長井」構想をスタートさせた。
- ・2020年には、NTT東日本からデジタル専門人材が派遣され、デジタル推進室長に委嘱。2020年7月にデジタル推進室（室長含めて15名で構成）が発足。各部門の若手職員にデジタル推進室への兼務・併任事例を発令した。
- ・2021年8月には国のSociety5.0型交付金による事業が採択され（総額約8.2億円、県内初）し、翌10月から事業が本格始動した。
- ・2025年現在、事業継続5年目（最終年）となる。

＜主な施策と成果＞

#### ①デジタル地域通貨「ながいコイン」

- ・2022年5月に導入。スマホ登録・QR／プリペイドカード対応により、高齢者を含む広い層に利用されている。
- ・2023年6月時点で加盟店160店舗、総流通額6.46億円、利用率95.9%という高い普及が確認されている。なお、現在、健康ポイントや市政参加促進との連携も検討中。

#### ②スマートストア（無人店舗）

- ・市庁舎と伊佐沢コミュニティセンター敷地内に設置。専用アプリまたは貸出スマホ、セルフレジによる決済が可能。
- ・伊佐沢では設置から約39か月で延べ2,579人が利用、そのうち60代以上の利用もみられ、高齢者の地域購買支援に貢献。

#### ③河川水位監視

- ・河川監視LPWAを活用した水位センサーと静止画カメラを設置。リアルタイムで水位情報が取得可能。
- ・水位情報は災害対応に活用するほか、HPにも掲載し、市民と情報を共有していく予定。

#### ④子ども見守り

- ・GPS発信端末とスマホアプリを活用した遠隔での子どもの見守りを実施。AIによる異常察知機能もあり、通学路安全や都市環境改善にも活用を想定。

#### ⑤有害鳥獣対策

- ・ 猟友会と連携しモーションセンサーカメラを市内17か所に設置し、AIによる種類識別と通知機能で住民への警戒を迅速化。
- ・ 夜間対応や遠隔監視には赤外線カメラや衝突回避機能付きドローンを活用。箱罟の監視も可能になり、人手削減と効率化が実現。

#### ⑥その他のデジタル施策

- ・ RFID による市営バス乗降データの収集、テレワーキングブースやコワーキングスペース配備、常設eスポーツコンテンツの地域展開、ドローン技術者育成など、多様な分野で導入が進む。

#### <広報と住民理解促進>

- ・ 市公式ホームページや情報誌あやめRepoで、施策の暮らしへの利便性が広報され、住民への周知が進行中。

#### <視察を通じて得られた知見・考察>

- ・ 包括的な技術活用による安心・利便性向上として、無人店舗や地域通貨など、暮らしに寄り添った誰もが使いやすい工夫が随所に見られる。
- ・ データ横断の価値創出として、水害監視・鳥獣対策・子どもの行動など、多層的データの組み合わせによる地域安全対策が推進されている。
- ・ 効果的な体制構築と合意形成として、市長のリーダーシップと、部門横断のデジタル推進室が施策推進の原動力となっている。
- ・ なによりもデジタル技術の活用は、目的ではなく手段であり、いかにして地域の課題解決へアプローチが可能かという視点から各種施策が推進されている。

#### (4) 視察先の取組状況②

##### 山形県米沢市

- 視察日 : 令和7年7月17日(木)
- 視察事項: 米沢ブランド戦略の取組
- 概要

##### <戦略の背景と目的>

- ・ブランド戦略の目的は、地域産品・サービスの高付加価値化、交流人口の増加、定住促進、雇用創出などを通じた豊かなまちづくりである。

##### <ブランド戦略の策定プロセス>

- ・策定にあたっては、市民参加を軸とし、共通の認識形成を図っている。
- ・基本方針として、全体ブランドと個別ブランドの二層構造を採用し、洗練されたロゴやメッセージの策定にはトップクラスのクリエイターを起用。市民ワークショップも重視されている。
- ・市民が参加するワークショップを通じ、候補となる5つのコンセプト案から「鷹山公のDNA『挑戦と創造の町、米沢』」が最も共感を得た。

##### <ブランドコンセプト「挑戦と創造」>

- ・鷹山公の「なせば成る」の精神を現代に受け継ぎ、地域発の革新や高品質な産品創出への意志が理念となっている。
- ・特産品や先進産業、自然や文化を生かしつつ、次世代への技術継承と生活の質向上も意識した包括的なブランド像が描かれている。

##### <推進体制と仕組み>

- ・ブランド戦略の統括組織として「米沢ブランド戦略会議」が設置され、地域イメージの向上や価値創出などを担当。
- ・会議は定期的開催され、戦略の進捗や内容の見直しを議論する場となっている。

##### <主な施策・イベント>

###### ①360° よねざわオープンファクトリー

- ・地元の織物、食品、木工などの製造現場を開放し、来場者が工房を見学・体験できる地域一体型イベントを開催。

###### ②伴走型リブランディング支援事業

- ・2023年6月より、地域の中小企業を対象に、ブランドづくりを支援する「伴走型リブランディング支援事業」がスタート。企業がブランド戦略を構築するために、伴走型のサポートを提供している。
- ・なかでも「米沢品質 AWARD」といった顕彰制度を通じて、品質向上やブランド価値創造

を促進する取り組みも展開中。

#### ＜評価・知見＞

- ・市民参画型のブランドづくりである「挑戦と創造」といったコンセプトは市民に深く浸透しており、行政だけでなく市民と共にブランド形成を行う姿勢が強い。
- ・イベントによるファン創出と発信力について、「オープンファクトリー」は来訪者が地域産業を直接体験できる貴重な機会となり、地域への愛着やファンの醸成に貢献。
- ・支援と循環の仕組みは、「伴走型支援」や AWARD 制度などにより、中小企業が持続可能にブランドづくりを推進できる土壌が整っている。

#### （５）実地視察

□視察日：令和7年7月17日（木）

□視察事項：米沢市内主要施設の視察（米沢ブランド戦略関連）

□概要

##### ①東光の酒蔵

江戸時代創業の老舗酒造「小嶋総本店」が運営する観光酒蔵を視察。伝統的な手づくりの製法を継承しながら、温度管理や発酵工程にIoTを活用するなど、データによる品質安定化にも取り組んでいる。また、蔵の一部を資料館や体験スペースとして開放しており、酒づくりを学びながら地酒の試飲もできる観光拠点として高い人気を得ていた。歴史ある産業を体験・交流・発信の形に変え、地域経済と観光を結びつけている点が印象的であった。

##### ②上杉神社

上杉謙信公を祀る米沢市の歴史と文化を象徴する神社である。境内には宝物殿「稽照殿」などが整備され、観光客が一年を通じて訪れている。上杉まつりをはじめ、四季折々の行事を通じて地域の歴史を活かした観光振興が進められており、市民の誇りと地域ブランドの形成に大きく寄与している。また、観光インフラの整備だけでなく、語り部ガイドなど地域住民が主体となる取組が印象的で、地域全体で観光を支える体制づくりが進んでいると感じた。

##### ③米沢おりじん（米沢織産地）

米沢織は、上杉鷹山公の時代から続く伝統産業でありながら、現代的なデザインや新素材の導入により新しい市場を開拓している。現地では、若手職人の研修体制やデザイナーとのコラボレーションを通じ、伝統を守りつつ時代に即した商品開発を推進していた。米沢おりじんでは、地域産業の魅力発信のため、見学受入れや体験プログラムを実施しており、産業振興と観光振興を融合させた取り組みとして、地方都市の持続可能な発展の気付きとなった。

##### ④道の駅よねざわ

観光と地域産業をつなぐ拠点として整備され、米沢牛や地元農産物、伝統工芸品などを一体的に発信している。館内には飲食コーナーや観光案内所があり、観光客だけでなく地

域住民の利用も多いと感じた。地域資源を磨き上げ、来訪者に米沢らしさを伝える仕組みが整っており、地域ブランディングの完成度の高さを感じた。

### 3 久慈市として取り組んでいくべきこと（提言）

---

くじ未来会議として、「いつまでも住み続けられる持続可能なまち、市民が誇りに思えるまち」を目指すため、次の３点の実施について考えていく必要があると考え提言します。

長井市視察を踏まえた政策提言

デジタル技術による地域課題解決の加速

#### ①デジタル推進体制の整備

提言：横断的な組織を設置し、庁内部局をまたぐプロジェクト推進体制を構築すること。

#### ②高齢者を含む誰もが使える地域デジタル施策

提言：地域課題解決に資するデジタル化の取り組みを推進すること。

#### ③データ活用によるまちの見える化

提言：数値化による根拠ある政策の選択と集中を図るため、複数分野のデータを収集・統合することにより、地域課題の定量化と政策評価を可能にすること。

米沢市視察を踏まえた政策提言

市民とともに育てる久慈ブランドの形成

#### ①地域ブランド戦略の策定と推進

提言：琥珀、恐竜化石、柔道、久慈秋まつり、伝統芸能、郷土食、海、山、里、など、久慈市が持つ固有資源をベースとしたブランドコンセプトの再整理と戦略化を行うこと。

#### ②市民参加型のブランド形成

提言：ワークショップなどを通じ、ブランド戦略を市民の言葉で語れるものとし、共感と誇りを醸成するプロセスを重視すること。

#### ③地域産業のリブランディング支援

提言：市内事業者へのブランディング支援（販路開拓、デザイン、Web 発信等）を伴走型で提供し、久慈ならではの商品・サービス価値を創出すること。

政務活動費対象金額内訳

| 支<br>出 | 区分  |                   | 単価     | 数量 | 金額      | 支払先             |
|--------|-----|-------------------|--------|----|---------|-----------------|
|        | 宿泊費 | タスパークホテル          | 9,900  | 5  | 49,500  | ㈱みちのりトラベル東北久慈支店 |
|        |     | 東横INN             | 7,900  | 5  | 39,500  | ㈱みちのりトラベル東北久慈支店 |
|        | 交通費 | 新幹線(二戸～赤湯)        | 13,090 | 4  | 52,360  | ㈱みちのりトラベル東北久慈支店 |
|        |     | 新幹線(盛岡～赤湯)        | 11,220 | 1  | 11,220  | ㈱みちのりトラベル東北久慈支店 |
|        |     | 新幹線(米沢～二戸)        | 13,110 | 5  | 65,550  | ㈱みちのりトラベル東北久慈支店 |
|        |     | バス(往路)            | 1,570  | 4  | 6,280   | ㈱みちのりトラベル東北久慈支店 |
|        |     | バス(復路)            | 1,570  | 5  | 7,850   | ㈱みちのりトラベル東北久慈支店 |
|        |     | タクシー(長井市役所～米沢市役所) | 15,460 | 1  | 15,460  | 長井交通㈱           |
|        | 計   |                   |        |    | 247,720 |                 |



領 収 証

くじ未来会議 殿

No. 009460

2025 年 7 月 15 日

¥ 232260/-

内消費税 10% (現金・振込・小切手)

| 内 容 | 種 目 | 旅行年月日     | 行先(又は品名) | 内 訳      |
|-----|-----|-----------|----------|----------|
|     |     | 2025.7.16 | 山形       | 宿泊・JR代金等 |

上記金額正に領収致しました。



〒028-0051 岩手県久慈市川崎町16-5

株式会社みちのりトラベル東北

久慈支店長 植 野 真 由 美

TEL 0194-53-5221 FAX 0194-53-5222

扱者印

※金額訂正又は扱者印なきものは無効

登録番号 T8400001000133

領 収 証

くじ未来会議 様 2025 年 7 月 15 日

★ ¥ 15460

但 長井 ~ 米沢

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)